

北陸新幹線の早期全線開業を求める意見書

北陸新幹線は、日本海国土軸の形成や国土の均衡ある発展に資するとともに、大規模災害時において東海道新幹線の代替機能を果たすなど、国土強靱化を図るうえで極めて重要な国家プロジェクトであります。

また、近年では事故や台風、ゲリラ豪雨等による東海道新幹線の運休が問題化しており、南海トラフ地震が発生する可能性も高まっている中、国民や物資の輸送手段として北陸新幹線が有する代替運送機能を最大限発揮させることは重要であります。

そのためには、一日も早い大阪までの北陸新幹線全線開通が望まれるところですが、現時点ではルート案は出されたものの確定には至っておらず、認可着工の時期についても不透明であり、着工5条件の課題解決も見通せない状況であります。

このように多くの課題が山積している敦賀以西であります。小浜・京都ルートでの大阪開業の効果は、災害に強い国づくり、人口の都市部一極集中の是正、地方自治体の活性化など、日本の将来を描くためにも代え難いルートであります。

上記のことを踏まえ、福井県嶺南6市町議会では北陸新幹線小浜・京都ルートでの早期全線開業を望み一致団結して活動を行っており、おおい町議会として下記の事項について強く要望いたします。

- 1 敦賀・新大阪間の環境影響評価および北陸新幹線事業推進調査を迅速かつ着実に進めるとともに、令和6年末までの駅位置・詳細ルートの公表および令和7年度には認可・着工を行い、1日も早い全線開通を実現すること。
- 1 JR西日本への貸付料の算定期間延長を含めた、国民に理解される財源を確保するとともに、沿線自治体に過度な負担が生じないように配慮し、着工5条件の早期解決を図り、開業までの期間を最大限短縮すること。
- 1 敦賀以西における小浜・京都ルートでの大阪延伸について、JR小浜線は特急が運行されていないため新幹線開業により旅客輸送量が著しく低下する路線ではないことから、敦賀・新大阪間の整備に伴う並行在来線は存在しないことを確認すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和6年9月24日

衆議院議長 額賀 福志郎 殿
参議院議長 尾辻 秀久 殿
内閣総理大臣 岸田 文雄 殿
財務大臣 鈴木 俊一 殿
国土交通大臣 斉藤 鉄夫 殿
内閣官房長官 林 芳正 殿

福井県おおい町議会